

徳地町報

発行所 徳地町役場
発行所者 徳地町村役場
編集所 徳地町河村所
印刷所 今澄印刷所

納期限 4月28日までです
たはこは、町内で買いますよう
町内で買われるだけで、町の建
設に貢献していただくことになり
ます。ご協力をお願いいたします

今年も新入学、新学期、就職などすべて心算な月です。
そこで、「新しい希望にもえる子どもたちに計画的合理的な生活を送る態度を身につけてあげる」というテーマで、家庭の日を企画されるのはいかかでしょう。



町勢では、二月二十四日小で新入見とおかさんの「交通安全教室」聞き、手をあげて左右をみてと熱心に勉強しました。

春の交通安全健民運動

四月六日～一五日まで

春の交通安全健民運動は四月六日から十五日までの十日間実施されます。
町では、「子ども事故防止」に重点を置いて、集中的に交通安全運動を実施することにしております。

また、通学、通園児の安全を確保するため、スクールの設定し、近日中に実施します。
このほか、新入学児に交通安全の手引き、副読本として、「よい子のこうつづき」をくばります。

交通安全協会は、新入生にランドセルカバー、えんぴつを配布します。
交通安全ポイントを全員に配布します。

スクールの設置
八坂地区スクールゾーン
小学校等中心に五〇〇四方

議会便り

八億九千万円の大型当初予算 特別職等の給与改定 へき地保育所の新設などきまる

昭和三十七年定例第一回の当初議会は、三月十日招集、三月二十三日まで会期十四日間が開会され、本会議を三日間、その間各委員会が開かれました。
今回の提出案で主なもの、総額八億九千万円にのぼる一般会計予算をはじめ各特別会計予算、非常勤の特別職の報酬等の改正案、町特別職の給与案の改正、へき地保育所の新設、敬老年金の増額、同和地区福祉基金貸付制度の新設、林道分担保金の引下げ、小金養特別融資の限度額引上げ、統合小学生などの通学援助費の支給、国保葬祭費の引上げ、火葬場使用料の引上げや町有財産の交換、譲与、貸付案の改正などです。

別会計を設けるための条例の制定

徳地町林道開設事業分担保金収支の一部改定
この改正は、林道開設の分担保金を百分の十五(旧百分の二十五)に改めたこと、山林、林道の公共性が高くなったこと、また実質収支がなくなったことなど、理由により実質的に改正したものであります。

徳地町小企業特別融資に関する条例の一部改正

徳地町小企業特別融資に関する条例の一部改正
これは、融資の最高限度額を従来の五十万円から八十万円に引き上げることが主な点で、ほかは支文整理などです。

徳地町小、中学校児童生徒の通学奨励費等に関する条例の制定

従来は、通学費補助金の支給条例が中心でしたが、こんどこれを廃止し、新しくこの条例を制定しその内容は、
旧国見分校、旧通内分校通学区の見直し、バス定期券を支持。

徳地町国民健康保険条例の一部改正

これは、国民健康保険被保険者死亡の際の葬祭費二千四百引上げ五千元に改めたものです。

徳地町火葬場条例の一部改正

これは、火葬場使用料を改め十年以上を五千円(旧、四千円)十年未満を四千円(旧、三千五百円)とし、自動車の使用料を二千九百円(旧、千九百円)に改正したものです。

徳地町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

これは、以前よりもした町の患者過渡率は、現在よりも減っています。

スクールの設定に伴う規制

ハルビテ原所ハ坂小ハ坂中ハ坂本スタスタまでの八七〇mの間
七時～二時まで、駐車禁止

河野利之氏車庫前からの花尾

保育人支所ハ福福橋までの一、〇〇〇mの間
七時～二時まで、速度制限

志賀商店前からの上村橋までの

九五〇mの間
七時～二時まで、駐車禁止および速度制限三〇km

大月分校通学区児童の通学に必要な費用は補助されます

徳地町公民館条例の一部改正
これは、徳地町公民館、大字野谷八〇八を加えたものです。

徳地町国民健康保険条例の一部改正

これは、国民健康保険被保険者死亡の際の葬祭費二千四百引上げ五千元に改めたものです。

徳地町火葬場条例の一部改正

これは、火葬場使用料を改め十年以上を五千円(旧、四千円)十年未満を四千円(旧、三千五百円)とし、自動車の使用料を二千九百円(旧、千九百円)に改正したものです。

徳地町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

これは、以前よりもした町の患者過渡率は、現在よりも減っています。

スクールの設定に伴う規制

ハルビテ原所ハ坂小ハ坂中ハ坂本スタスタまでの八七〇mの間
七時～二時まで、駐車禁止

町長施政方針の要旨

当初予算 8億9,000万円のあらまし

昭和47年度の当初予算総額は8億9,000万円で、町制施行以来初めての超大型予算となりました。これは、46年度の当初予算より50%増加しており、その主な原因としては、町長の施政方針に盛り込まれている諸施策の実施であります。中でも目新しい事業としては、老人医療費の無料化の実施、同

和对策事業、下水汚濁浄化事業、山村開発センターの建設事業、直営および公団造林の積極的実施、町道等の整備補修対策、教育関係では、中央小学校の建設などが挙げられます。

歳入の説明は省略しますが、歳出についてもグラフを参照しながらご覧ください。

歳入 議会費1,747万円は、そのほとんどが人件費、物件費その他のが主なものです。

総務費 1億2,523万円の性質別内訳は、人件費8,834万円、物件費2,260万円や、補助費等1,201万円などがあります。

具体的には、給料諸手当、交際費、各種負担金、補助金をはじめ広報紙の発行、町有財産の管理運営、各支所の運営、企画、徴税各種選挙の執行などの通年予算が計上されています。

民生費 1億9,911万円の中では人件費2,990万円、物件費561万円、補助費等570万円、関係その他の特別会計への繰入金742万円、普通建設事業へ2,308万円など主なものです。

具体的には、社会福祉団体や老人クラブなどへの助成、老人医療費の公費助成(2,016万円)道路用地としての公有財産購入など同和事業の推進、本年1月より実施された児童手当などが盛り込まれております。

衛生費 2,040万円の中では人件費922万円、物件費として1,050万円、補助費等228万円、関係施設等への繰出金が300万円、普通建設事業費として455万円となっております。

内容の主なものは、物件費では医療材料費、建設事業では、島地と堀の下水汚濁の整備、環境衛生関係ではゴミ処理の委託費などが主なものです。

農林水産業費 2億4,255万円の中では、人件費3,162万円、物件費346万円、補助費等では、1,397万円、普通建設事業は大きく1億5,497万円です。

農業関係の建設事業の主なものは、単農および団体営の土地改良事業と山村開発センターの建設事業費で、開発センターは、47-48の2年継続で施行されます。

林業関係の大きいものは、単農の林道改良、町の林道開発事業、橋梁改良など主なものです。

(水産業費は省略)

商工費 352万円では、補助費等の172万円、普通建設事業の129万円が主なものです。

土木費 1億1,708万円のうち人件費1,783万円、物件費128万円、維持修繕費891万円、普通建設事業費8,842万円は、公営住宅の建設と用地関係のほか最大のものは、町道整備に6,730万円を投入していることです。

消防費 1,069万円は、消防団の運営経費と、消防施設の整備充実に使われるもので、新年度では、小型ポンプ4台のほかホース防火帽その他の購入と防火水そう3ヶ所、消防機庫3ヶ所の建設が予定されています。

教育費は、1億9,167万円のうち人件費が4,050万円、扶助費が249万円、物件費が3,224万円、維持修繕費が207万円、補助費等が858万円、普通建設事業費1億5,799万円などに使われます。中でも出雲地区4校を統合した中央小学校の建設工事が最大のものです。

また中学校関係でも申中の水洗便所建設などあり、このほか小中学校ととも教材備品の配属にも意が注がれています。

社会教育関係では、公民館、図書館活動や家庭、婦人学級等に適切な配慮がなされています。

また、文化財保護では、上村の月輪寺薬師堂の修理などが考えられています。

災害復旧費は、1,476万円で45-46年の農林水産施設や公共土木などの復旧に使われます。

公債費 6,377万円の主な内訳は、辺地整備債を筆頭に補助災害債、単独災害債、義務教育債や一般単独債、辺地対策債、同和対策債、減税補てん債一般補助債、水田債などの元金、利息の返済に充当されるものです。

予備費 156万円です。この予算は、特別の建設経費を除き一般経常経費は、47年度通年予算として計上されたものです。

- 一、四十七年度重点施策の大綱
 - 1 町民の健康保持と環境整備
 - 2 道路の改修整備
 - 3 中央小学校の建設と各学校教育
 - 4 社会教育の振興と人件費対策
 - 5 老人福祉対策
 - 6 産業振興対策
 - 二、予算規模
 - 昭和四十七年度当初予算の規模は歳入、歳出とも
 - ◎八億九千九百九十九万七千七百七十七円七角七厘を計上し、昭和四十六年度に比べて約五〇%の増加です。
 - 税金の伸び率は、わずかに七%ですが、一割増しの伸び率は、一三%強となり、前年のべた重要施策の実施には、容易ならぬものがあります。
 - ◎歳出の内容分析(ふんせき)
 - △人件費二一、〇〇〇千円
 - △補助費等四七、〇〇〇千円
 - △扶助費四〇、〇〇〇千円
 - △投資積立金二、〇〇〇千円
 - △公債費六三、〇〇〇千円
 - △繰入金一〇、〇〇〇千円
 - △物件費八二、〇〇〇千円
 - △普通建設費三二、〇〇〇千円
 - △維持修繕費一三、〇〇〇千円

- ◎災害復旧費一、二〇〇千円
 - △前年度当初予算より特別に伸び率の高いものは
 - △民生費一〇〇、〇〇〇千円
 - △衛生費一〇〇、〇〇〇千円
 - △土木費一七、〇〇〇千円
 - △農林水産業費二〇、〇〇〇千円
 - △水産費一七、〇〇〇千円
 - △消防費一、〇〇〇千円
 - △教育費一〇、〇〇〇千円
 - △議会費三六%の伸びとなっている

- ◎具体的実施方針
 - 一、社会福祉関係で老人訪問員および介護員の増設
 - 二、老人医療の無料化、すなわち現物支給制度を廃止と協議のうえ四月一日より実施することとするための予算措置を講じたこと
 - 三、社会開発を推進
 - 1 社会開発基金の繰入金、同和対策事業としての道路改良、不良家屋の改修を大規模実施し、社会開発を進めていく
 - 2 児童福祉関係では、田野の河内地区に「へき地保育所」を新設し、幼児保育の充実をはかりたいと思えます
 - 四、環境衛生関係
 - 1 衛生費(七二%の伸び)
 - △衛生費一〇〇、〇〇〇千円
 - △環境衛生費二〇、〇〇〇千円
 - △水産費一七、〇〇〇千円
 - △土木費一七、〇〇〇千円
 - △消防費一、〇〇〇千円
 - △教育費一〇、〇〇〇千円
 - △議会費三六%の伸び
 - 五、保健衛生関係
 - 1 イ予防接種、ガン検診等の料金をさらに軽減し、住民負担の軽減と全市民を自衛に努力させたいと思えます
 - 2 保健婦の増員
 - 3 保健婦二名の増員し、町民の健康増進の政策を期したい
 - 4 八生活環境の改善を期したい
 - 5 島地と堀の下水汚濁の改修
 - 6 ゴミ処理の徹底をはかり、環境の美化を努めたい
 - 六、農林関係
 - 1 農産物の生産を中心とし、椎茸等きん丸の増産、畜産団地の形成等に積極的指導補助の方針であります
 - 2 土木関係では、土地改良を含め大幅に実施する覚悟です
 - 3 造林事業をそう考えています
 - 4 教育関係では、中央小学校の建設および各小学校の内容充実をはかる所存であります
 - 5 農村開発センターの建設
 - 6 四七、四八の二年継続事業で農村開発センターを建設して町民の体育、娯楽、研修および人つくりの場として、町発展の基盤にしたいと思えます

特別会計名	47年度予算額
国保事業助成	138,800千円
直診	14,704千円
住宅改修資金	5,623千円
交通災害共済	4,275千円
同和援護費	5,651千円

これを要するに近く県道の火政、中国産道の開設等によって本町は将来交通の要衝となり、ありとあらゆる施設等により、その面目を一新するのは、近き将来にあるであろうと確信しております。

そこで、これらの受入体制の万全を期し、本町発展の礎石を築きたいと思っております。

今期は、私の任期最後の当初予算であります、各位のご批判とご叱正を賜わり、最善のことに仕上げて、町民皆さまの付託にこたえたい決意であります。



